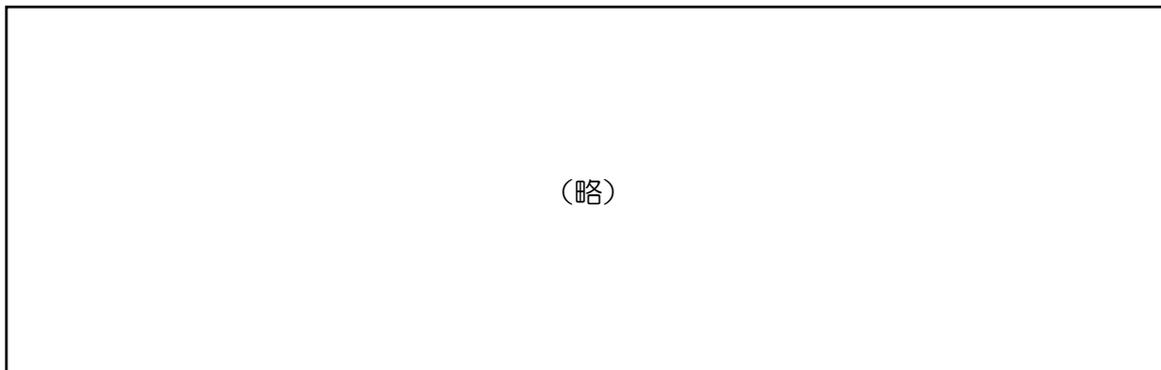


第3学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 「小さな自分」のお気に入り

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態



(2) 題材について

本題材では、「小さくなった自分」の視点から見て面白いと感じた場所を、身近な材料を使ってお気に入りの場所につくりかえていく活動を通して、子供たちの身近な場所を見つめ直し、新たな楽しさを生み出す力を育てることがねらいである。10cmから15cmの小さい自分を動かし、気に入った場所を身近な材料を使って作り変えていく活動を通して、視点を変えることや場所を作り変えていこうとする力を育てる。自分が見ている現実の様子に、想像したものを加えていくといったこれまでの学習を組み合わせながら、授業を行っていく。

(3) 指導について

題材の導入では、教師が作成したスライドを見て学習への意欲を高める。この時、完成までの手順を子供たちに考えさせる活動を取り入れながらスライドを進めることによって、子供たちのプログラミング的思考力を育ませるようにしたい。活動の場面では、子供たちが「小さくなった自分」を動かしながら、気に入った場所を見つけ、どんな工夫を加えていけばよいのか身近な材料を使いながら考えていく。題材の終盤では、作成したのを見つけた場所に加え、小さな自分を置いて写真を撮影し、友達と見合う活動を行うことで、周りの場所のもつ新たなよさを見つけていく。

本時では、題材の導入として、学習内容の見通しが持つことができるよう教師が作成したスライドを見て、学習の進め方を自分たちで捉えることができるようにする。その後、小さな自分を持ち、図工室内に提示してある様々な写真（学校の内外の様子）に自分を置いて気に入った場所を見つける。場所に対して自分ならどんな工夫を加えていくか付箋に書き込み貼っておくことで、周りとの意見交流を図り、次の時間で自分が行うことに対しての見通しが立てられるようにする。

掲示する写真は同一の場所でも、角度や高さなどが違う写真を多数用意し、外に出なくても、小さな自分を動かすことによって、様々な視線を疑似体験できる工夫を行う。熱中症に留意した工夫を取り入れながら学習を進めていく。

3 題材の目標

視点を変えることで場所のもつ新たなよさを見付け、自分の思いに合わせてさらにより場所につくりかえていこうとする力を育てる。

- 身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえるときの感覚や活動を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かっている。(知識)

- 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープなどについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。(技能)
- 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。(思考・判断・表現)
- 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージを持ちながら、自分たちがつくりかえた場所の造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。(思考・判断・表現)
- つくりだす喜びを味わい進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。(態度)

4 指導と評価の計画 4時間扱い (本時 1/4)

時	学習活動	学習内容	
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> • 小さな自分を動かしながら、お気に入りの場所を決定する。 	○場所の決定及び楽しい場所を考える活動	<p>思・判・表 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>態度 つくりだす喜びを味わい進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> • お気に入りの場所を決め、楽しい場所になるように作り変える。 	○お気に入りの場所を、楽しい場所に作り変える活動	<p>技能 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープなどについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> • お気に入りの場所に工夫を加え、写真撮影を行う。 	○お気に入りの場所を、より楽しい場所に作り変える活動	<p>知識 身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえるときの感覚や活動を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かっている。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影した写真の鑑賞をする。 	○小さな自分の視点で見た景色の鑑賞	<p>思・判・表 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージを持ちながら、自分たちがつくりかえた場所の造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>

5 本時の学習指導 4時間扱い (本時 1/4時間)

(1) 目標

- ・「小さな自分」の視点で見つけた場所を決め、どのように作りかえるか思いついている。(思考・判断・表現)

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点(配慮・手立て) ◎評価
1 本時の課題を知り、学習の見通しをもつ。	目線を変えると見える世界が変わるね	○教師がスライドを使って、学習の流れを提示する。「小さな自分のお気に入りの場所を見つけよう」と、小さな自分の写真を渡して、制作意欲を喚起する。
「小さな自分」になって、面白そうな場所を探してみよう。		
2 「小さな自分」の目線で場所を見て回り、よいと思うところを探す。	○場所の決定 ・水道は涼しそう ・校庭の遊具を家にしてみよう ・大きな本に囲まれてみたい。 ・寝転ぶと気持ちよさそう。	○教師が作った作品を見せて、どのように作ったかを考えさせ、作り方を考えるヒントにさせる。 ○教室以外の場所は、写真をホワイトボードに貼り教室内に掲示する。 ○場所探しのときは、密にならないよう、同じ場所でも見方が違う写真を複数枚用意しておく。 ○写真を撮りたい場所が決まったら、付箋に決めた理由とどんな風に作り変えたいかを書く。
3 決めた場所について、クラスの中で意見交流をする。		○自分や他の児童が決めた場所やアイデアの工夫を交流し合い、よさを認め合えるようにする。
4 選んだ場所が、より楽しい場所になるようにアイデアを膨らませる。	○より楽しい場所にする工夫 ・階段を付けよう ・昼寝ができるよう、葉っぱのベッドを作ろう。	○決めた場所の写真を児童に配布し、小さな自分の写真を重ねながら、どのような楽しい場所にしていきたいかアイデアを書き加えていく。 ◎「小さな自分」の視点で見つけた場所をどのように作りかえるか思いついている。(思考・判断・表現) 【ワークシート・行動観察】
5 本時の活動を振り返り、次時の活動を知る。	気に入った場所に行って大きさを比べてみよう。	○本時の自分の学びがどうであったかや、気付いたことについて振り返らせる。また、次時は実際に選んだ場所を作り変えていくことを伝える。

7 板書計画（パソコンによるスライド）及び場の設定

(1) 板書計画

<p>「小さな自分」のお気に入り</p> <p>「小さな自分」になってお気に入りの場所を見つけよう</p> <ol style="list-style-type: none">1 小さな自分に出会う。2 小さな自分とたんけんする。3 気に入った場所にふせんをはる。 ・どんなところが気に入ったか4 友達の意見をたくさん見てみよう。5 作品作りをする場所を1つ決める ・どんな風にかざりつけしようかな	<p>じかいにむけて</p> <p>どんなものを作るか</p> <ul style="list-style-type: none">・ざいりようは・できそうか <p>休み時間 じっさいに見てこよう</p>
---	---

(2) 場の設定

